

# 日本の息吹

兵庫県版

兵 庫 版  
 第一九三号平成二九年（皇紀二六七七年）一月二日発行  
 日本会議兵庫県本部事務局  
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一  
 兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）  
 HP <https://www.nipponkaigihyogo.org/>  
 メール [nipponkaigihyogo@gmail.com](mailto:nipponkaigihyogo@gmail.com)

## 第二十三回

### 全国戦歿学徒

#### 追悼祭齋行

全国戦歿学徒を

追悼する會

列島を横断し甚大な被害をもたらした超大型で非常に強い台風二十一号の影響



により、当日は生憎の雨天となつて出陣学徒壮行會のような秋雨が降りしきる中、戦歿学徒記念「若人の廣場」（南あわじ市阿万大見山）に於いて全国戦歿学徒追悼祭が齋行された。大東亜戦争で戦地又は軍需工

「若人の廣場」は、荒廃を極め大変憂慮される状況が長く続いたが、南あわじ市並びに兵庫縣を始め復興を願ふ方々のご努力により、平成二十七年三月十五日に都市公園として再開された。

場等に動員され亡くなられた、二十萬人余の学徒の御靈を慰靈するため建立された同廣場にて、終戦五十年を迎へた平成七年から齋行された今年で二十三回目となる。昭和十八年十月二十一日に東京・明治神宮外苑陸上競技場に出陣学徒壮行會が開催された故事に因んで、毎年十月二十一日に開催してゐる。



### 《 11月22日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 11月25日(土)14時 三島由紀夫・森田必勝両烈士追悼祭(13時30分開場) 問合先 07055082577  
(会場:長田神社 2,000円 先着50名会員限定 要予約(申込10月号ご参照) 記念講演;講師百地 章先生)
- 12月 9日(土)15時 日本会議兵庫神戸支部設立総会(記念講演;講師 西岡 力先生)別紙申込  
(会場:楠公会館 湊川神社 参加費 事前1,500円(当日2,000円) 学生割引有 懇親会5,000円)
- 12月17日(日)13時半~15時 憲法改正街頭活動 神戸大丸前 問合先 07055082577
- 12月23日(土) 8時半~日本会議兵庫中・西播磨支部 姫路護國神社清掃奉仕活動
- 1月8日(月・祝)11時~12時半 憲法街頭活動(成人式) グリーンアリーナ神戸問合先 07055082577
- 2月11日(日)建国記念の日を祝う会(神戸, 姫路)  
(神戸会場)13:30兵庫県民会館パルテホール(開場12:45)[構成;講演会・式典・パレード]  
講演は、勝岡寛次氏(明星大学戦後教育史研究センター)「建国精神と明治維新150年」(仮)  
(姫路会場) (記念講演;講師未定) 未定部分は、決定次第最新号でお知らせいたします。



追悼祭では近畿各地より「わがやまと参加した青年神職が祭典を奉のくに」「海仕し、本名孝至幹事長と兵庫ゆかば」奉唱縣知事（代理）が追悼文を奉など、教義宗讀し、海上自衛隊徳島教育航派を超へ多く空群徳島航空基地喇叭隊ののご來賓の「悲しみの譜」「國の鎮め」の方々を迎へ「水漬く屍」三曲が吹奏されて、總勢一八た。次いで山口縣・朝田神社○名もの參列宮成眞澄權禰宜と香川トモコにより嚴肅裡さんによる、香淳皇后より賜に齋了されはった御歌による「みたま慰た。

齋了後、毎年祭典をご奉仕戴く神道青年會を代表



して神道青年全國協議會の佐野巖會長と、兵庫縣姫路護國神社宮司であり兵庫縣神社廳長の泉和慶氏のご挨拶があった。

式典の後、ホテルニューアワジ・プラザ淡路島に會場を移して總會を開催。

一三〇名余りの参加者のもと、明年の第二十四回追悼祭を縁故の日である平成三十年十月二十一日（日）に齋行することなどを採択し、日本會議三木英一會長の發声により参加者一同で學徒の御靈に献盃を行った。

台風の接近にて生憎の天候となったが、特にキリストの幕屋の方々には今年が土曜日の開催日となり、早くから學徒と年齢を同じくする學生の

參列を呼びかけていたこともあり、中高生の姿もあつて世代を超えて多くの有志が相集つた。終戦七十二年を迎へて、「行く末の礎とならん」と散華された學徒の御靈を追悼し、緊迫の度を増す東亜細亜情勢の中で我國の行く先を案じ、さらなる平和を希求することを誓ひ盃をあげた。今後追悼の儀式を継続することが今に生かし生かされる者たちに与へられた責務であり、永遠の祈りの場とすることを御靈前にお誓ひし散會した。

### 憲法街頭活動の報告

去る十一月五日、月例の憲法街頭活動を行った。

参加者は三名と少なかったが、三人集まれば何とか、継続は力なりで、「ありがと」「自衛隊」「半島危機」「憲法改正」「自衛隊明記」等を訴えた。奇しくもトランプ大統領の訪日であつた当日、これから起ころうとする半島情勢は、どのような結末になるうとも、背後の中国の影響が大となることは避けられないという、聖徳太子の時代や白村江の戦い以来の同様の課題に備えるためには、日米同盟を確固として、日夜の守りに献身される自衛隊の方々への感謝を表す空気醸成と憲法への自衛隊明記の一步を踏み出す憲法改正がまず必須であることを強く訴え、ありがとう自衛隊キャンペーンチラシおよび神戸支部設立記念講演会（西岡力氏、十二月九日）チラシを各九十枚配布、十筆の憲法改正賛同署名を得た。情宣中、激励の声をかけてくれる若いアベックもいたり、心強く思つた。



次回は、十二月十七日（日）午後一時半から同場所、さらに明年一月八日には、恒例の神戸市成人式参加の若者を対象にチラシ配布をグリーンアリーナ（神戸総合運動公園）で行う予定。会員諸氏には是非ご協力ご参加を呼びかけた付記させて頂いた。お問合せは表頁の連絡先まで頂ければ幸いである。（市橋）